

生徒ら環境意識新たに

南秀同窓会 友利直樹さんが母校で講演

宮古高校卒業生で構成される南秀同窓会主催の講演会「語り継ぐ南秀魂」が1月31日、同校で行われた。関東南秀同窓会の友利直樹さんが講師を務め、後輩生徒に環境に対する意識を新たに持ってもらうことと全校生徒を対象に「あなたは命の水地下水を守れますか」と題した講演を行った。

友利さんは「地下水は島民にとってかけがえのない水源」と話すとともに「一度汚染するともとに戻すことが難しい」と説明した。今すぐできることとして節水の実践や身近な自然環境

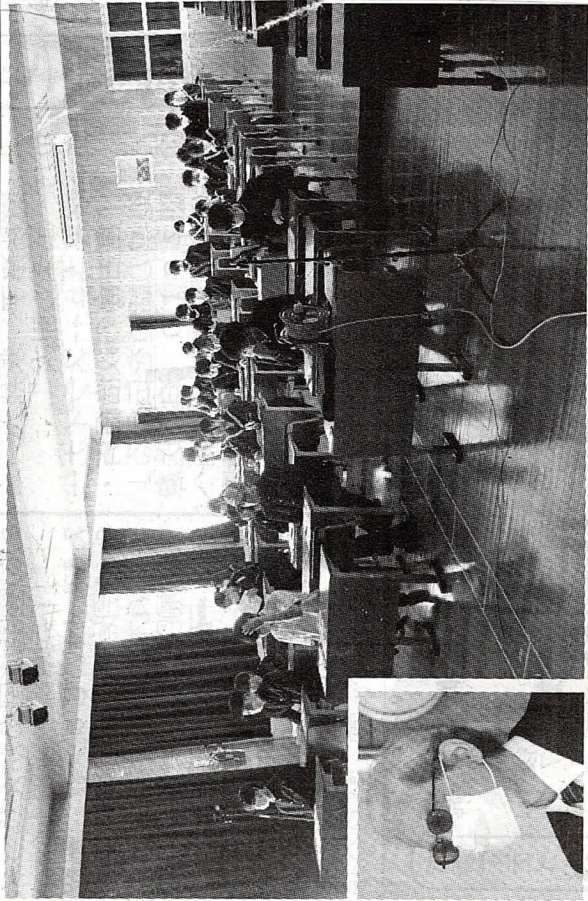
変化の観察などを紹介。「『命の水』を子や孫そして将来世代に帰すのが私たちの責務」と生徒らに伝えた。

友利さんは1954年生まれ。生家は旧友利産婦人科医院。宮高25期。卒業後信州大医学部へ入学。宮古病院などを勤務の後、95年

に東京都で「ともりないかクリニック」を開業、現在に至る。

同講演会は2015年から始まり、南秀同窓会（宮古島）、沖縄南秀同窓会（沖縄本島）、関東南秀同窓会が毎年持ち回りで実施している。コロナ禍の影響により3年ぶり、6回目の開催となった。

南秀同窓会では講演会のほか、寄付などの校内支援、奨学金の交付も行っており、後輩たちの活躍を支援している。



友利さん(左下)の話に耳を傾ける生徒ら=1月31日、宮古高校